



とくがわいえやす  
徳川家康は、どんな人だったの



のぶなが ひでよし  
信長・秀吉の死後にようやく天下を取り、がまん  
えどばくふ しょうぐん  
強い人といわれる、江戸幕府の初代 将軍 だよ。

徳川家康は1542年に、<sup>みかわのくに</sup>三河国（<sup>おがさきしょうしゆ</sup>愛知県）<sup>まつだいらひろただ</sup>岡崎城主の松平広忠の長男として  
生まれました。6歳（満4歳）から<sup>さい</sup>織田氏の人質、8歳から19歳まで<sup>ひとぢち</sup>今川氏の人  
質として育ちました。1560年、<sup>いまがわよしもと</sup>今川義元が<sup>おだのぶなが</sup>織田信長に討たれると、<sup>う</sup>岡崎城に帰  
って自立しました。

関東にうつされ、江戸城を<sup>こんきよち</sup>根拠地にした

1562年に信長と<sup>どうめい</sup>同盟を結び、信長を助けるとともに、<sup>みょうじ</sup>今川氏・武田氏と戦っ  
て、領地を広げました。その間の1566年に、<sup>しん</sup>苗字を徳川に変えました。信長の  
死後は、<sup>とよとみひでよし</sup>豊臣秀吉と対立しましたが、<sup>したが</sup>結局、秀吉に従う形をとりました。159  
0年に<sup>おだわら</sup>小田原の<sup>ほうじょうし</sup>北条氏がほろびた後、関東6か国の領主にされたので、江戸城を根  
拠地にして、江戸の町づくりに力を注ぎました。

秀吉の死後、天下を取った

秀吉の死後、<sup>いしだみつなりは</sup>石田三成派と対立する一派の中心人物となり、<sup>せきはら</sup>関ヶ原の戦いで三成  
派（西軍）を破りました。1602年に九州の<sup>しまづし</sup>島津氏を降伏させて、<sup>こうぶく</sup>天下統一を完  
成し、<sup>よくねん</sup>翌年、<sup>せいいたいしょうぐん</sup>征夷大將軍になりました。1605年、<sup>ひでただ</sup>將軍の職を秀忠にゆずりまし  
たが、その後も「<sup>おおごしよ</sup>大御所」として、<sup>じっけん</sup>政治の実権をにぎっていました。1615年に  
豊臣氏をほろぼし、翌年、75歳で病死しました。

がまん強い人といわれている

家康は、がまん強い人といわれています。6歳から19歳まで人質生活を送った  
こと、<sup>のぶやす</sup>信長の命令で長男信康を自殺させたこと、信長・秀吉の死後にようやく天下  
を取ったことなどが、その理由のようです。